

行せる當時既に云ひ盡し、現今斯界より遠ざかり居る小生には、警告致すべき資格無きかと存じ候。

たゞ同師に願ふところは、同師の自重あるのみに候。

○ 西 村 紫 紅

義大夫藝術ほど體力の強壯を要するものはあるまい。私は古靱師の至藝に一日も長く接したい希望から、先づ健康を要求する。そして益々深く練磨し、研究して、その妙趣を味はせて欲しいのである。

○ 田 中 煙 亭

拜復 古靱大夫師の紋下榮進に關し、不肖老骨にまで御懇書を拜し恐縮、直に御回答申上ぐる筈の處、客月來宿病稍々重り、苦惱の朝夕を送り候爲、遷延申譯無く候。右の次第にて、東上の文樂も遂に不參、師の妙音に接せず、豫ての感想とてあらためて申上ぐる程の事もなく、たゞ此上とも傳統の純眞藝術、所謂音曲の司たる義大夫節の完全なる保存、向上に努力し、後進の誘掖に盡瘁せられんことを希望する外なく延引ながら右まで。草々。

○ 久 保 田 金 僊

古靱大夫の紋下に昇格されたことは、誠に慶賀の至りです

また目下の淨界についてはさもあるべきこと也。且つ同師の従前よりの努力の然らしむるところとなづかれます。しかし、同師のあとをついで、誰れ／＼と指を屈しますか、其點については少々淋しい心持ちもいたします。依つて今後は同師に次ぐべき人々の養成を祈ります。

○ 岡 鬼 太 郎

御懇書拜誦仕候へ共、何の存じ寄りも無御座、乍折角御返事申上げ兼ね候。不惡思召し被下度候。

○ 河 野 國 聲

古靱師の事故、大いに人の言はぬ半面を書いて賞揚したいこと山々ですが、とても／＼忙しくて、筆執る暇が無いんです。書けたら書いて送りますが、間に合はなかつたら悪しからず。

○ 岡 本 井 筒

咲く花に向ふ敵無し鑑草——我が古靱師は其の人格、その研究、その技倆に於て、嶄然四邊を拂つて居る。また日本因協會々長として、文樂座統率者として東西一致、上下推薦するところ、而も從來の舊慣を廢して櫓下に還元したる事、流石古典を尊重する平素の主張と、新境開拓の雄志あり／＼と